

公開講座・講演会一覧

■ … 目白キャンパス □ … 我孫子キャンパス

開催日	講座タイトル	講演者
7月	2日 としまコミュニティ大学① 海外から見た和 문화 -「和」からつながる世界-	特別講師 宮澤 やすみ氏 (小唄師範)
	9日 日本文化学科公開講座① 能装束の着装と仕舞の実演	宝生流シテ方能楽師 和久 莊太郎 (日本文化学科非常勤講師)
	23日 心理相談センター公開講座 若者の発達課題と大人の発達障害 ①青年期の問題と自己実現 ②成人期の発達障害	松原 由枝 (心理学科教授) 渡邊 昭彦 (心理学科教授)
8月	6日 上橋 菜穂子特任教授オープンクラス 物語の表現-読む物語、観る物語-	上橋 菜穂子 (児童教育学科特任教授)
	8-9日 Kawamura English Classes in Summer, 2016 夏の英会話教室 (1日3時限・2日間講座) ①中学生コース ②高校生コース	シャーロット・ゴフ (国際英語学科助教) マクシム・シャバリン (国際英語学科助教)
9月	11日 日本文化学科公開講座② みほとけを守る-仏像修復の現場-	特別講師 石井 幹男氏 (仏師) 司会進行 真田 尊光 (日本文化学科准教授)
	17日 川村英文学会特別講演 志賀直哉と武者小路実篤の我孫子時代	特別講師 瀧田 浩氏 (二松學舎大学教授)
10月	8日 2016秋の公開講座①「MATSURI-祭・祀・政-」 ①花まつり-誕生仏立像の諸相- ②祭りが生まれる、祭りが変わる -民俗学の立場からみた祭りの現在-	真田 尊光 (日本文化学科准教授) 及川 祥平 (日本文化学科講師)
	8日 としまコミュニティ大学② ヨーロッパの古城と宮殿	藤井 信行 (観光文化学科教授)
	15日 2016秋の公開講座②「MATSURI-祭・祀・政-」 ③アメリカ大統領選挙2016 ④スポーツの祭典 オリンピックに出場して	倉林 直子 (国際英語学科講師) 岩崎 利彦 (心理学科教授)
	22日 2016秋の公開講座③「MATSURI-祭・祀・政-」 ⑤アートイベントと観光まちづくり-瀬戸内国際芸術祭- ⑥エジプトの祭り-古代とイスラームのはざままで-	高山 啓子 (観光文化学科教授) 辻 明日香 (史学科講師)
	29日 2016秋の公開講座④「MATSURI-祭・祀・政-」 ⑦海の祭典-ホーエンツォレルン家と海- ⑧祇園祭-中世人の祈りと祭り- 親子で学ぶおかずバランス「グーバー食生活」 第1回 10:30-12:00 第2回 13:30-15:00	生井澤 幸子 (史学科教授) 辻 浩和 (史学科講師) 生活文化学科一同 後援: 全国栄養士養成施設協会
11月	19日 としまコミュニティ大学③ ①2016年アメリカ大統領選挙を振り返る ②世界が注目してきた日本の政治と社会	倉林 直子 (国際英語学科講師) マクシム・シャバリン (国際英語学科助教)
12月	3日 千葉県栄養士会研修会 「味覚とおいしさの科学」	特別講師 鈴木 隆一氏 (AISSY 株式会社)
	3日 目白観光文化研究所公開講座 「和」からつながる世界-海外出るなら日本を知ろう!-	特別講師 宮澤 やすみ氏 (小唄師範) 特別ゲスト 山内 菜々子氏 (活動写真真弁士)
2月	10日 あびこ農力発見プロジェクト 「食べて学ぶ料理教室」第7回	福永 淑子 (生活文化学科非常勤講師)
	11日 あびこ農力発見プロジェクト 「食べて学ぶ料理教室」第8回	福永 淑子 (生活文化学科非常勤講師)

公開講座
告知ポスター



花時計 vol.38

Kawamura Gakuen Woman's University

2016
年度



目白キャンパスガーデンにて

国際英語学科	p.02	観光文化学科	p.11
史学科	p.03	新任教員紹介	p.12
日本文化学科	p.04	退職教職員	p.13
心理学科	p.05	新刊紹介	
幼児教育学科	p.06	年間行事	p.14
児童教育学科	p.08	Open Campus	
社会教育学科	p.09	保育士資格取得のための特例教科目講習	
生活文化学科	p.10	公開講座・講演会	p.16

我孫子キャンパス

〒270-1138 千葉県我孫子市下ヶ戸1133番地
Tel:04-7183-0111 (代表)

目白キャンパス

〒171-0031 東京都豊島区目白3丁目1番19号
Tel:03-3951-0111 (代表)

川村学園女子大学

花時計 第38号 (2016年度)

発行日/平成29年3月1日

発行/川村学園女子大学

編集/広報委員会

〒270-1138

千葉県我孫子市下ヶ戸1133番地

TEL 04-7183-0111 (代表)

URL http://www.kgwu.ac.jp/

大学ホームページ



大学ブログ



鑑賞教室 - 歌舞伎やオペラに触れて -

教授 金尾 健美

史学科では今年も様々な行事を行いました。

3年生恒例の歌舞伎鑑賞は7月16日新国立劇場で行いました。今年は「三十三間堂軒由来」という作品で、京都・三十三間堂の建立由来に絡めた異類婚姻譚です。

学生の感想ですが、「初めて歌舞伎を鑑賞しましたが、歌舞伎の楽しみ方や、見どころを分かりやすく解説してくれたので、すんなりとお芝居の世界に入っていました。終盤、お柳の苦しみや悲しみが私達にも痛いほど伝わり、胸が苦しくなりました」と、若く柔軟な感性に強く訴えるものがあつたようです。

史学科もうひとつの恒例行事は2年生を対象とするオペラ鑑賞です。やは

り7月16日東京文化会館で、宮本亜門演出・東京二期会によるモーツァルト『フィガロの結婚』を鑑賞しました。モーツァルトのオペラはどの作品もよく知られていますが、多くの学生が初めてオペラを鑑賞したようです。それでもフィガロとスザンナの軽妙な掛け合いなど、モーツァルトならではの宮廷喜劇『フィガロ』を素直に感じ取ってくれたようです。

1年生は必修科目「日本史研究入門」の一環として、11月26日、江戸東京博物館で『戦国時代展』を見学しました。

上杉家に保存された多くの戦国武将の書状、川中島合戦図屏風、毛利元就や武田信玄など武将の肖像、さらに北野天神縁起絵巻、等々、国宝や重文が

ずらりと並ぶ展示は学生たちに強い印象を与えたようです。

「武家諸法度など教科書に載っているようなものを実際に見ることができた」とか、「授業で習った花押とか詳しくわかって楽しかった」と、多くの学生が満足したようです。「いつかこの古文書を読めるようになりたい」と、頼もしい感想を述べた人もいました。



■高津純也ゼミ

8月31日から9月2日の3日間で名古屋・犬山・岐阜に行きました。

一日目は尾張徳川家の徳川園と徳川美術館を見学しました。戦国から江戸時代の大名のお室で満腹。

二日目は明治村を見学。広大な敷地に明治の建物がたくさん。館内の展示も充実していて、一日かけても、全部は無理。とりあえずは憧れの矢筈の袴姿で、ハイ、ピース！

三日目は、国宝五城の一つ犬山城とその城下町を見学した後、織田信長の天下取りの拠点、岐阜城に上り、夕方には熱田神宮に参拝しました。名古屋は信長・秀吉・家康に縁が深い土地だということがよくわかりました。

もちろん昼や夕方にはご飯を求めて町歩き。美味しかったですよ～！

(4年高津ゼミ生の合作)



秘密ね)。それはさておき、あっという間に潮がひいていくのが分かります。帰る頃には鳥居まで歩いて行けるほどに！

三日目は萩です。出発前に卒論中間報告会。レジュメに沿って、卒論の進行状況を説明しました。無事終了。

松陰神社、松下村塾、伊藤博文旧宅、明倫館、木戸孝允旧宅、高杉晋作生誕地、…と次々に見学しました。盛りだくさん！ 充実！

(4年 武田 あずさ)

■辻浩和ゼミ

私たち日本中世史のゼミでは、京都・奈良に行きました。初日は、ゼミ生の卒論テーマにあわせて、平氏が基盤を置いた六波羅や、紫式部が『源氏物語』を執筆した廬山寺、平安京跡などを巡りました。六波羅では平氏一門の家名が今なお町名に残り、感動しました。

2日目は奈良の平城京跡・興福寺などを、最終日は京都の下鴨神社と晴明神社を見学しました。史学科ならではの旅行でした。

(4年 岩田 美希)



本物を鑑賞するのでは、受ける印象がまったく違うでしょう。鑑賞後は上野公園でお昼を食べて帰りました。

来年度からは、3年生を中心に、目白の街を取材して英語で情報発信するMejiro in Englishの活動を始めたいと思っています。さて、今度はどんな発見があるでしょう。



た生徒さんとも先生ともホストマザーともお別れするのがとてもさみしかったです。今でも何人かと連絡を取っているのですが、いつかまたどこかで会えたらと思っています。以前よりも言いたいことを言えたり、日本のことをしっかり説明できるようにたくさんのことを学んでいきたいと思う良いきっかけになりました。



学校最後の日に先生方が歌ってくれました

きる力が備わります。自分の意見をハッキリと相手に伝えられるようになること、自分の英語に自信が持てるようになることがこのセミナーの素晴らしいです。



アクティブ・ラーニング！

教授 菱田 信彦

国際英語学科では、目白という立地を生かし、キャンパスの外に出て英語を“使う”体験を積みかさねる「アクティブ・ラーニング」を重視しています。昨年度から、外国人の先生たちを外国人観光客に見立てて都内の観光地を英語で案内する「通訳ガイド」体験を行っています。

今年の11月23日(水・祝)には「EIA II (2)」の授業で、2年の学生たちが、日の出橋から浅草まで水上バスで隅田川をさかのぼる船旅にウィリアム・キスチャック先生とシャーロット・ゴ

フ先生を案内しました。学生たちは下調べをし、両国国技館やスカイツリーなど、船から見える観光スポットについて英語で説明できるよう準備しておきます。浅草到着後は仲見世通りや浅草寺、三社権現を訪れ、ゴフ先生に神社に参拝する際の「二礼二拍一礼」の作法を教えたそうです。

12月3日(土)には、ゴフ先生の「美学(2)」の授業で上野の東京都美術館へ「ゴッホとゴーギャン展」を鑑賞に行きました。学生たちがたいへん積極的で、絵画について英語でいろいろ質問し、感想をどんどん言うので、ゴフ先生はちょっと驚いたそうです。やはり教室で学ぶのと、外へ出て



クライストチャーチ

イギリス研修

3年 米屋 実里

私は海外に行ったことはありませんでしたが、引率の方がいる旅行だったため、引率なしでの留学は初めてでした。

行きにドバイで乗り継ぎをしたのですが初めての地で初めての乗り継ぎに少し緊張しましたが、飛行機を待っている間に一緒に行ったメンバーとより仲良くなるのが出来ました。

緊張と楽しさが混じり合う中、CIEにつき、ホストマザーに会った瞬間はとても安心しました。ホストマザーはとても優しい方で様々なことを気にかけてくださいました。

学校までは少し遠くバスで通っていましたが、他の大学の生徒さんとバスの車内で仲良くなることができ、毎日楽しく通学することが出来ました。

たった3週間でしたが、はじめの1週間はわかった人が発言するという日本とは違う形式の授業だったため、学校に慣れるのも大変でした。しかし、徐々にほかの国の生徒さんとも仲良くなり、いろんな話をしたい、英語をもっと学びたいという思いが生まれてきました。先生や日本人スタッフの方も優しくとてもどんな時も話をたくさん聞いてくださいました。

3週間はあっという間で、仲良くなっ

す。また、自分たちで身振りを考えたり、台詞の言い方をキャラクターの個性に合わせて変えたり、どうすることで見ている人にもっと楽しんでもらえるかなど意見を出し合い、セミナーの仲間と一緒に一つの劇を作り上げて、11月の本番に向けて稽古をしていきます。また、原作との比較や自分の役が何がしたいのか、どういう状況なのか、などを考察してレポートを書きます。夏には強化合宿もあり、本格的な練習をすることで更に力をつけていきます。また、人前で役を演じることで自信が身につくため表現力を養うこともできます。就職活動や授業の中では人前で話すことが多々ありますが、そういった場面でも自信を持って発言で

セミナー紹介

3年 有元 彩乃

キスチャックセミナーは、英語劇を通して英語と演劇の基礎を学ぶパフォーマンスセミナーです。舞台に立つための動きや歩き方、発声、英語で意思を伝えることを学びます。見ている人が楽しめるように大きな声でハッキリと台詞を言えるように日々練習を積み重ねます。劇中の台詞はすべて英語で、11月の本番までに台詞は全て暗記をします。台詞の中には日常で使える会話が頻繁に出てくるため、アルバイト先や街中など社会の中で外国人の方と接する時にしっかり意思を伝えられるようになるまでに英語力も向上しま

音楽療法 in 我孫子聖仁会病院

心理相談センター長 箕下 成子

川村学園女子大学心理相談センターのバックアップの下、心理学科の授業（臨床心理学実習II）で我孫子聖仁会病院のデイケアにおじゃまし、音楽療法を実施しました。30名集まってくださった利用者のみなさんたちと季節のお話をしたり、昔のお話を聴かせていただいたりしながら暖かい雰囲気の中で実施できました。

まずは、ピアニストの渡辺かづきさんの紹介を兼ねて自作の美しい曲を独奏していただき、「幸せなら手をたたこう」でウォーミングアップをしました。次にトーンチャイムとベルを5音階（ペンタトニック）選んでひとりひとつずつ手で持って振り、

音を鳴らします。ペンタトニックはでたため演奏しても3回繰り返すと不思議な事にメロディーになってきます。そのメロディーをピアニストが伴奏することで世界が広がり素敵な曲になってきます。

可愛らしい曲や壮大な曲、清らかな曲など利用者のみなさんたちが鳴らしたひとつひとつの音が素晴らしい曲として生まれ変わっていく場に立ち会えることは援助者としての喜びです。そのように、

バラバラだった心や苦しかった思いがほんのちょっと援助することで芸術的な美しさに変容していくという追体験ができる実習でした。



イギリス研修 —感情表現と親しみやすさの重要性—

4年 佐田 優希子

私は国際コミュニケーション（イギリス研修）という科目を履修し、夏期休暇中の3週間を利用してオックスフォードへ語学留学しました。現地ではホームステイファミリーや地元の人々、そして語学学校の講師と生徒など多くの外国の方と交流しました。

彼らと触れ合う中で驚いたことは、彼らが感情表現豊かである点です。彼らは自分の感情を、言葉は勿論、表情や体の動きで表に出し、他者にわかりやすく伝えようとします。他者が今どのような状態にあるのかを把握できることは、人を安心させます。日本では相手に気を遣わせないように感情を見せず、逆に相手の気持ちを汲む・察するという優しさがあります。一方、外国では、他者に自分の気持ちを気づい

てもらおうを待つのではなく、自分から気持ちを他者に知ってもらい、逆に他者の感情に対しても「私はあなたの感情・やりたいことがわかりました。」と明瞭に表明することが優しさなのです。その根底には、自分と他者への信頼感があります。自分が何かしらの感情や意思を持つことへの肯定と、それを他者も無碍にすることなく取り扱ってくれるという確信です。

ヨーロッパには「人は皆同じボートに乗っている」という諺があります。ヨーロッパは移民が多く、様々な言語や文化が混在してきました。そのようななかでも、他者の協力を得て自分の要求を通すための最も効果的な手段として、まず他者を信用し、逆に自分も信用してもらい、そして、自分の気持ちを伝達することが重要であったのだろうと考えます。

また、外国の方々は非常に親しみやすかったです。学校では講師と生徒が対等の立場にあり、お互いにリラックスして意見を交換し合えます。また、家庭や町



ロンドン観光で行ったハロッズの外観

でも大人と子どもは対等であり、親しげに挨拶を交わしていました。日本では上下関係やそれに伴う礼儀作法を尊びますが、外国では立場や関係ではなく、その人自身を尊重するというのを重要視します。

我々が何かしたいことがあるとき、必ず他者の協力が必要となります。そして、互いの本来の能力を引き出すための最も効果的な方法は、自分と他者が互いに心を開いた状態と、それに伴う自己効力感を持つ状態を作ることです。日本の人間関係でみえる尊敬は、機械的な礼儀作法に終始しており、意味がない上、心理的な距離を離すもので、何かをやり遂げるためには非常に非効率的だと思います。コミュニケーションにおいて、親しみやすいということは一種の礼儀であり、最大に相手を敬う方法の一つなのではないかと考えます。



緑豊かなカレッジのレディーマーガレットホール

能装束をまとう —実感的学び

2年 白岩 優依

公開講座の一環で、私は能の装束を着るという貴重な体験をさせていただきました。能装束は重く、帯もきつく締められます。かなり動きづらいもので、三人がかりで着せてもらいました。

今回は二種類のかつら・能面を着けさせていただきました。小面（こおもて）と般若（はんにゃ）の面です。着面の作法としては、面をいただき、敬意を表します。能楽師の面への真摯な思いに触れた心地でした。

能面をつけると視野が狭くなり、足元も見えません。私は実技の授業で「能の仕舞と謡い」を履修していますが、狭い視界で動くため、能舞台の柱を目印にすると習いました。その意味が実感できた瞬間でした。

能装束を着ることは私には二度とないかもしれせん。伝統文化を身を持って学ぶことができるステキな

機会をいただきました。ありがとうございました。



「みほとけを守る」 —公開講座報告

准教授 真田 尊光

9月11日「みほとけを守る—仏像修理の現場—」と題する一般公開講座を開催しました。

講師には現役の仏師である石井幹男氏をお迎えし、真田が司会進行を担当しました。石井氏は浅草に工房

講座で石井氏は仏像修理に対する基本的な理念や実際の作業工程について、貴重な写真を交えてご説明され、また普段ご使用されている道具も現物を展示していただきました。

講座は参加者が80名を超える盛況となり、後半の質問コーナーでは専門的な内容から、普段なかなか聞けないような素朴な質問まで飛び出しました。

この講座はオープンキャンパスの体験授業と、学科の選択必修科目である「宗教と美術」・「日本の仏像」の授業も兼ねていましたが、聴講した高校生や学生たちにとっても得難い機会になったと思います。



を構えて活動されており、これまでに千葉県の市原市・白井市、茨城県のつくば市・古河市など、本学の学生にも馴染みのある地域の指定文化財の仏像も多数修理されています。

歴博で学ぶ民俗学 —学外見学報告

講師 及川 祥平

日本文化学科・及川ゼミ（日本文化専門演習Ⅶ〔伝統芸能・民俗学〕）では、現地・現物・当事者から学ぶ精神で、見学旅行や現地調査に力を入れています。

今年度は夏休みの一日を利用して、民俗学の研究拠点である国立歴史民俗博物館に赴き、松田陸彦准教授に貴重なレクチャーをいただきました。先端的な研究と王道的研究の両側面をバランスよく反映した構成が歴博の民俗展示の魅力です。今回の見学の目的も、民俗学の全体性を、展示資料を通して学ぶことにありました。もっとも、個々の魅力的なトピックに受講生は夢中の

様子。特に、「お節」や「美容グッズ」「妖怪」の展示に人気集中したようです。文化財レスキューについても、みな真剣に松田先生の解説に耳を傾けていました。

卒論の方向性を探る者、これまでとは違う民俗学の側面に気づいた者、博物館での仕事に興味を深めた者な

ど、それぞれ何かを掴みとって帰ることができたようです。



附属保育園で 保育士体験実習

「言語表現技術」で1年生は、児童文化財について学びました。実習を経験した4年生の先輩の実演に興味津々です。子どもの発達をふまえた児童文化財を作成し練習しました。夏休み中の「附属保育園体験実習」で実演し、子どもたちの姿に驚き、喜び…次の実習に向けて準備開始！



「先輩の実演（言語表現技術）」



「附属保育園体験実習」(2016.8~9)

全員で浴衣体験！

夏季保育などの場面で、一人で浴衣が着られるように、全員で浴衣を着る練習会をしました。ABクラスごとに日をわけて、少人数での着付けの練習。二人一組になり、みな熱心に何度か練習し、最後には全員、自力で、しかも短時間で着られるようになりました。完成度は…(笑)。さらに各自で何度も着用して、より美しい着物美人を目指しましょう！



「浴衣の着付け・練習会」(2016.7.9/7.23)

鶴雅祭での演劇発表

2年生が鶴雅祭で演劇「11匹のねこ」「くるみ割り人形」の発表をおこないました。シナリオの作成からはじまり、用具の製作や音楽、演技と一から手作りでおこないました。試行錯誤しながら一つのものを作り上げる経験は、保育者となった時にきっと役立つことでしょう。



「鶴雅祭での演劇（音楽Ⅱ・図工Ⅱ・体育Ⅱ）」(2016.10.22)

子どもたちと絵本『はらぺこあおむし』の世界で遊ぶ



「附属保育園の子どもたちとの活動」(2016.5)

保育内容演習を受講する3・4年生が、絵本『はらぺこあおむし』の世界を大学構内に作り、附属保育園の4・5歳児に遊びにきてもらいました。子どもたちの視点になって遊びの環境を作ったり、援助したりすることのおもしろさと難しさの両方を経験したのではないかと思います。

保育者をめざして学びあう

保育所での実習にむけて「保育実習演習Ⅰ（2年生）・Ⅲ（3年生）」では、全ての実習を終えた先輩（4年生）のポスター発表や、保育現場での話に熱心に耳を傾け、工夫等も教えてもらいました。4年生は、「保育・教職実践演習」として後輩へ伝えるなかで実習を振り返り、資格取得に向けて総仕上げです。保育者として成長し続けることができますように。。。



「先輩から学ぶ（保育実習演習Ⅰ・Ⅲ、保育・教職実践演習）」(2016.11)

「子どもたちによる絵本化プロジェクト」に参加して

4年 庭野 詩穂



子どもと関わるボランティアをしたいという思いから、ゼミの担任である北原先生のご紹介で「NPO法人パコモ」が企画する「子どもたちによる絵本化プロジェクト」に参加しました。その中で、私は子どもたちにより作られた絵本を海外へ送るため、英訳する役割を担いました。

私は英語が得意ではなかったため多少の躊躇いもありましたが、英語に自信が無くても大丈夫という後押

しや苦手だからこそ今挑戦したいといった思いから参加しました。また翻訳の先生とはメールでやり取りを行い、その中で細かく訳をチェックして頂くなど、とても親身にサポートをしてくださったため安心して取り組みました。完成した作品は、1ページ1ページが子どもたちそれぞれの個性に溢れ、地元を舞台に描かれた作品であるため、幅広い年齢層で楽しめる作品に仕上がっていました。

私は現在ボランティアに関する卒業論文を作成しています。その中でNPOの職員である方との繋がりを持ったことはとても力となりました。また4月から保育の職に就くことから、子どもの教育現場を自分の目で見

機会を頂けたことも良い経験でした。今年も同様の企画が行われ、参加させていただくことになりました。残りの学生生活も様々な企画に参加することで多くの人との関わり合いを持ち、その出会いを大切にしていきたいと思っています。



絵本「いんば沼のりゅう」の1ページ

◆ 幼児教育学科では、「子どもとともに生きることができる自覚ある保育者」、「すべての〈ひと・もの・こと〉に感謝できる保育者」をめざしています。2016年度も「多様な〈ひと・もの・こと〉と出会う（1年生）、学ぶ（2年生）、活かす（3、4年生）」をねらいとし、授業や実習を通して学びを深めました。◆

自然科学の

今と昔に触れる！

「幼児教育体験学習」と「保育内容環境の指導法」を受講している1年生と3年生との合同学外授業で、上野の国立科学博物館に行きました。幼児教育に携わる者にとって、自然科学に対する興味を持ち、知識を得ておくことは必須です。1年生は易しい、3年生はやや高度なレベルのワークシートを記入しながら、各自で興味深い展示を見学しました。



「国立科学博物館見学（学外授業）」(2016.6.4)



カマドで焼いた 焼き芋は美味しい！

薪を割り、かまどを作り、美味しい焼き芋ができました。又、大きな収穫としてはお互い協力する内に、友情を培うことができたのではないのでしょうか。ご苦労様でした。



「芋ほり」(2016.9.26)→「焼き芋体験」(10.5) 大学敷地内にて

社会で活躍している素晴らしい“社教”の卒業生たち

藤田(桑村) 梨枝 (平成 21 年度卒)



私は大学では、図書館司書について学びました。卒業後、介護福祉士の資格を取りましたが、その勉強のための資料集めに、司書科目で学んだことが役立ちました。現在育児休暇中ですが、産休・育休に入るまで、都内にある介護老人保健施設で、介護士として働いていました。そこでは、御利用者様を身内と考え、適切なケアが出来るよう、日々努めてきました。1年後の育休明けには、また復職する予定です。これからも、育児を楽しみながら社会で活躍したいと思います。

友松 由実 (平成 13 年度卒)



国立青少年教育振興機構に就職して8年が経ちます。その間、本部、国立青少年自然の家、文部科学省と勤務を重ねてきました。本部では、機構全体の研修支援事業や広報などを行いました。少年自然の家では、念願のボランティアコーディネーターや2週間の長期キャンプ、国際交流事業も経験しました。そして現在は、文部科学省青少年教育課で事業係長として、青少年の体験活動全般に携わっています。

今の自分には、学生時代のボランティア経験が強く息づいています。人と関わる楽しさ、積極的に取り組む姿勢、夢をもつこと。その全てが自分の糧となり、今の自分を形作っています。支えてくださった先生方、友人、そしていつも見守ってくれている両親に感謝しています。

本村 彩子 (平成 21 年度卒)



現在、私は聴覚障害を持つ子ども達が通う聾学校に勤務しています。正直に言うと、大学入学時は教員になりたい気持ちはなく、3年次に行った介護等体験で私の考えは180度変わりました。その後は、ボランティアやたまごプロジェクトに積極的に参加し、教師になりたい気持ちを強くしました。生徒とコミュニケーションをとるためには手話が欠かせません。赴任当時は手話・指文字・キョードスピーチ、今まで使わなかったコミュニケーションツールを覚えるのに苦労しました。子ども達との生活の中で痛感することは、私達がいかに日常の生活の中から音声で情報を得ているのかということです。聴覚障害をもつ子ども達の情報量は少なく、日々苦戦しながら子ども達の指導にあたっています。来年度で5年目になります。子ども達と共に成長していきたいと思っています。

関 恵里嘉 (平成 25 年度卒)



私は昨年4月に足立区にある「ヤオキン商事株式会社」に就職し、区から会社が指定管理で運営している「足立区生涯学習センター」で仕事をしています。主な担当業務は、施設の貸出し業務や、窓口対応、講座やイベントの当日運営です。この仕事に就いてよかったと思うことは、小さな子どもから高齢の方へ学びの場・居場所を提供できる事です。そこで沢山の笑顔を見るのが、仕事への励みに繋がります。

在学中には、社会教育主事の資格を取得するために、実習やボランティア・訪問活動をしていましたが、その経験が今の職場に活かされています。

これからも区民の皆様の学習支援・地域絆づくりを支援していけるように、日々精進していきたいと思っています。

涌井 友子 (平成 17 年度卒)



私は大学卒業時に司書資格を取得し、現在は「東京弁護士会・第二東京弁護士会合同図書館」という法律の専門図書館で勤務しています。小規模な図書館なので、購入する図書の選定から会計業務、図書の分類など、図書館にまつわる様々な業務を職員全員で行っており、忙しくはありますが充実した毎日となっています。

在学中は司書課程の勉強に、友人と一緒に四苦八苦しましたが、卒業してみると学んだこと全てが業務に直結しており、あの時勉強したのはこのためだったのか、と実感します。図書館での業務はちょっとした知識や雑学も大変役立ちますし、大学時代に経験したことがら全てが、とても貴重だったのだと思います。

奥田(大柳) 雅美 (平成 20 年度卒)



大学生時代を振り返ると、友達と授業やプライベートについて話していたこと、小さい頃からの夢である医療ソーシャルワーカーになるため、社会福祉士と精神保健福祉士の資格取得に向けて必死で勉強したことを思い出します。勉強嫌いな私が頑張れたのは、一緒に学ぶ友達や「資格を取ることがゴールではなく、資格を取って初めてスタートラインに立つんだよ」と気合を入れてくれる恩師がいたからでした。大学卒業後は就職し、結婚、出産、現在も子育てをしながら自宅近くの病院で医療ソーシャルワーカーとして働いています。やりがいのある仕事で私生活との両立が大変な時もありますが、家族や職場の仲間と助け合いながら楽しく過ごしています。みなさんも自分の夢に向けて有意義な大学生活を送ってください！

川上 恵 (平成 11 年度卒、平成 13 年度大学院教育学専攻修士課程修了)



私は現在、東京都北区・飛鳥山公園にある「渋沢史料館」という博物館で学芸員として勤務しています。近代日本で活躍した実業家・渋沢栄一をわかりやすく伝えるには？また、興味を持っていただける取り組みとは？という来館者の視点を大切に、ミュージアムエデュケーションを担当しています。就職当初から、情熱と探究心を持ち、幅広い視野や発想力、企画力、実践力、また人と人を繋ぐ「ネットワーク力」という学生時代に学んだことが、いかに大切であるかを感じています。

学芸員を目指すそうと思われる在学生の皆さんには、たくさんのご出会い、経験し、吸収していただきながら、ぜひ自分の夢をつかんでいただきたいと思っています。

とって最高の褒め言葉でした。1日目の1・2回公演の中でも改良を加え、本番中にも出来は良くなっていき、みんなでやり遂げたという気持ちがとても大きかったです。2日目はなぜかとても緊張しました。しかし大きなアクシデントもなく、無事に終了時のみんなの笑顔はとても印象深いです。学科の先生方の沢山のアドバイスや支援、学科のみんなのおかげで良い経験をする事ができました。

劇をすることは沢山のことに挑戦し新しい自分を見出してくれるので、今後の人生に役に立つと思います。実際今回も、小学校の時の劇の経験が活かされました。これからは勉強面などで様々な壁に当たると思います。そんな時にはこの鶴雅祭の時のように、みんなで協力しあって助け合って、乗り越えていきたいと思っています。



に立った時は緊張しましたが、無事に終えることができて良かったです。

鶴雅祭の時とは違った団結力、協力したり励まし合える友達に出会えて幸せだなと感じました。私達が味わったことを自分が教員になった時に児童に感じさせてあげたいなと思いました。これからもいろいろなコンサートに、児童教育学科1年生全員そろって出られたらいいなと思いました。

18 川科学園女子大学
児童教育学科女声合唱団

指揮 尾見 敦子

Avu, maris stela (めでたし喜の歌)
詞・聖歌より (ラテン語)
Bárdo Laps 作曲
Nagykalotás kórusok
(オジソロンタ地方の名前の日の歌)
Kodály Zoltán 作曲 (ハンガリー民謡に基づく)
Esti dal (夕べの歌)
Kodály Zoltán 作曲 (ハンガリー民謡に基づく)

小学校教員を目指す学生(1年生)が、毎年、ア・カペラ(無伴奏)による芸術作品の演奏に挑みます。3歳ともハンガリーの作曲家の作品、コダーイ・ゾルターン(1882-1967)は民族の収集と研究を基に、多くの合唱作品を遺しました。1曲目：聖母マリア賛歌。2曲目：「名前の日(ハンガリーの伝統)あなたにたくさん祝福がありますように。」3曲目：「神よ、真夏の放浪の嵐が身に安らかな一晩を、平和な世と心の安らぎと勇気をお与えください。」

2016年7月28日、前期最後の授業のあとで(音楽室にて)

我孫子市合唱祭プログラム

おおかみと7匹の子ヤギ

1年 佐々木 風果

児童教育学科で作上げる作品に、私はとても緊張していました。

夏休み明けに先輩や先生からのアドバイスをもらい、様々な小道具や紙人形を作っていました。紙人形を作るのはとても難しく、腕がスムーズに動くような工夫や、ヤギの子だとわかりやすいようなデザインを考えたりなど、試行錯誤を繰り返し、授業の合間や放課後にみんなで協力して進めていきました。

そして鶴雅祭前日に初めて通し稽古をした結果はボロボロでした。私はオオカミの担当でしたが、思ったよりも低い声が出なくて、「オオカミとヤギがどのような掛け合いをすればより面白くなるのか」とか、照明の演出技法や小道具の移動など、わからないことがたくさん出てきて、焦りと不安からいつもとは違うみんなの顔が見えました。が、妥協をする者は誰一人おらず、より良い劇になるように互いのアドバイスを練習を重ねて、夜には驚くほど良い出来に仕上がった劇になりました。帰る頃みんなの顔は、明日の成功を確信した自信に満ち溢れる顔を



していました。鶴雅祭当日。いつもより早く集合して最終確認を行い、会場を整えて呼び込みを始めました。呼び込みの時に「オオカミと7匹の子ヤギはどこでやるの〜?」「あれ見たい!」「早くしないと始まっちゃうよ!」という声がちらほら聞こえてきた時はとても嬉しくてやる気が倍増し、前日の緊張が嘘のように楽しみへと変わっていきました。

私はオオカミの被り物をしていたのですが、被り物を被っていないかのように自然と顔でもオオカミを演じていました。小さなお客さんの反応に応じて沢山セリフを変えてしまい、みんなやりづらかったかもしれないと思ってみんなに相談したところ、とても優しい返事をしてくれました。そのおかげで私は遠慮することなくオオカミを演じることができました。劇は大成功!ありがとうございますと差し出した手を避けられた時は悲しかったですが、同時にとても嬉しく、「怖かった」の言葉は私に

合唱祭を振り返って

1年 風間 悠衣

第37回我孫子市合唱祭でお客様に素敵な歌を聞いてもらうことを目標に、9月21日から音楽の授業や昼休みを使って練習をしてきました。私はソプラノを担当し、江川さん、来栖さんと音を1つにする練習をしてきました。歌うことは好きなのですが、なかなか音が合わなくてどうしたらいいのかなと悩みました。ですが2人の「大丈夫だよ。ここはこうすると良くなるよ」という言葉に励まされて練習を乗り切ってきました。



みんなが集合してすぐに楽譜をだし、練習が始まりました。いつも通り素敵に歌うことができました。そして私はみんなが歌っている姿と笑顔を見たら緊張がほぐれました。練習が終わりステージに立つ前に先生はみんなに「大丈夫よ。こんな聴衆の前で歌うことなんてめったにないじゃない」と言われ元気と勇気が湧いてきました。ステージ

『大学は美味しい!!』フェア

教授 大坂 佳保里

生活文化学科では、昨年に引き続き、今年も新宿高島屋で開催された『大学は美味しい!!』フェアに参加しました。既にご紹介したように、このフェアは全国の大学が開発した食に関わる商品を紹介・販売するイベントです。しかし、自ら手を挙げて参加できるわけではなく、主催者のNPO法人「プロジェクト88」と会場である高島屋デパートの厳しい審査をもとに、参加の依頼があります。昨年は初参加にもかかわらず、トマトのジャムやソースが高く評価され、これが今年の参加依頼につながりました。



メレンゲクッキー (左2つは紫にんじん、右はトマト)

今年、新たに商品開発を進めている紫にんじんの特性を生かした新商品を含め、6種類の新商品を販売しました。紫にんじんは黒にんじんと呼ばれ、根の部分がとても濃い紫色をしています。これはナスやブルーベリーの紫色と同じ、アントシアニンと呼ばれる色素によるものです。このアントシアニンは、酸性では赤から赤紫色、アルカリ性では青から緑色に発色します。この色の変化に着目して開発を進め、メレンゲクッキー2種類とピクルスを発表することができました。

メレンゲクッキーは、食品加工学実験実習の授業を通して学生たちが考案したもので、トマトのピューレを使用してサーモンピンク色の風味豊かな味わいになりました。一方、紫にんじんのピューレを使用してさわやかな水色と、これにレモン果汁を加えて酸性にすることでスクールカラーの紫色の2色のメレンゲクッキーが誕生しました。

また、「不足しがちな野菜を手軽に



ピクルス (左からスイート、和、カレー味)

美味しく食してもらいたい」という学生たちの思いから、3種類のピクルスも開発しました。このピクルスのコンセプトは、酸味が苦手な方たちにも美味しく食べていただくことです。「スイートピクルス」は紫にんじんの色、「和ピクルス」は隠し味に白醤油を加えた青山椒の実や生姜風味、「カレーピクルス」はスペシャルブレンドのカレーパウダーが食欲を増進させるなど、いずれのピクルスも野菜の豊かな風味が楽しめ、おいしくいただけます。どちらの商品も大好評で、連日、売り切れが続いた大ヒット商品になりました。

「グー・パー食生活」で、我孫子市の子どもたちを元気にするプロジェクト

教授 大坂 佳保里

生活文化学科では、一般社団法人全国栄養士養成施設協会の「栄養士養成施設が実施する社会貢献活動への助成金」に初めて応募し、厳しい審査を乗り越えて、助成金を受けることができました。この企画の目的は、千葉県が推奨する「グー・パー食生活」を子どもたちが学びながら体験することで、食に興味や関心を持ってもらうことです。近年、大人のみならず子どもたちにも増加傾向にあるロコモティブ・シンドロームや生活習慣病を予防するとともに、朝食欠食などの問題行動を抑制するためには、規則正しくバランス

のとれた食生活を身につけることが大切です。



参加者の盛り付けの一例

最初は我孫子市の子どもたちを対象にしていたのですが、案内を見かけた近隣の保護者の方から参加の希望もあり、子どもの食生活に多くの方が興味を持っていることを実感しました。毎食のおかずの主菜と副菜の分量やバランスをわかりやすく示した「グー・パー食生活」は、子どもたちにも理解しやすい食育媒体です。参加した子どもたちに合ったバランスモデルを紙皿で作成し、副菜の量を千切りのキャベツを



キャベツの計量

使って盛りつけて重量を測ったり、バランス良く盛り付けたりしました。子どもたちはもちろん、一緒に参加されたお母様たちからも、おかずの種類のバランスや量が良くわかったので、毎日の食事に活用しやすいとの感想をいただきました。このような知識型・体験型授業を行うことで、望ましい食生活に対する理解を深め、実践しやすくすることは、栄養士の養成校としての使命であり、地域社会に貢献することができたと思います。

同時に学生たちの栄養士を目指すモチベーションを高めることができたプロジェクトとなりました。



いろいろな食材や資料を使用した実践教室の一コマ

藤田観光プロジェクト

3年 山形 香生莉

昨年度に引き続き、今年度も藤田観光株式会社との産学連携活動「目白の森女子大学」事業を行っています。

5月には、若年層が結婚式に興味を抱ききっかけ作りとして「挙式プロジェクト」を企画しました。斬新なアイデアを新郎新婦の希望に沿ってカスタマイズし、今までにないアットホームな挙式を実現できました。

夏にはリゾートホテルである「箱根ホテル小涌園」とビジネスホテルである「ホテルグレイスリー新宿」を舞台に、スタッフインタビューを実施しました。施設や環境、顧客層が異なると同じ部署でも職務に違いがあること学びました。

そして、秋には世界最大級の観光イ



ホテル椿山荘東京
チャペル「ヴァンヴェール」での挙式

イベントといわれる「ツーリズム EXPO ジャパン」の藤田観光ブースにて、浴衣を着て産学連携の取り組みを紹介しました。また、鶴雅祭では、活動報告のパネル展示と合わせユネッサンの入浴剤の香り体験を実施し、多くの方にご来場いただきました。

これからも学生ならではの視点から、新たな発見・企画を発信していき、観光界を盛り上げていきたいです。



ツーリズム EXPO にて
産学連携の取り組みを紹介

瀬見温泉プロジェクト

2年 川根 せりな

一昨年6月より、山形県最上町にある瀬見温泉旅館組合と連携し、「瀬見温泉活性化プロジェクト」を行っています。このプロジェクトは瀬見温泉やその周辺の観光資源を視察し、同世代の女性に瀬見温泉の良さを伝えることを目的としてスタートしました。

3回にわたって行った視察では旅館組合の方々へ同行していただき、瀬見温泉の魅力や現状などを教わりました。その後も情報収集や意見交換を重ね、全国的にも珍しい「ふかし湯」を有名にしたいという方向で意見がまとまり、20代の女性向けに「ふかし湯」の魅力と入り方を伝えるパンフレットの作成が始まりました。また、昨年5月に行った視察では「東京カメラガ



リニューアルオープンした「せみの湯」前にて
(撮影：東京カメラガールズ)

ルス」の方々へ同行していただき、学生がモデルとなって新しくできた共同温泉施設や観光スポットでの撮影を行いました。そしてデザインや文章、「女子のバッグに入る大きさ」という紙の

サイズにまでこだわったパンフレットが完成しました。

このプロジェクトを通し、日頃教室で学んでいる知識を現場で確認するとともに、私たちが主体となって制作したパンフレットが世の中に出るといふ貴重な経験をしました。これからも地元の人たちとのふれあいを通して知った瀬見温泉の魅力を発信していきたいと考えています。



ふかし湯の入浴方法パンフレットの撮影風景
(撮影：東京カメラガールズ)

観光文化実践 I

教授 丹治 朋子

今年度より開講された新科目、観光文化実践 (I~X) では、観光地や観光施設などの現場での学びを重視した教育を行っています。

観光文化実践 I はホテルの仕事を理解する科目です。ホテル研修の1回目は宿泊部門と宴会部門、2回目は宴会部門とブライダル部門を取り上げました。それぞれ、担当者から仕事について詳しい説明を受け、ホテ

ルの施設を見学し、学んだ内容について学生同士がディスカッションするという4時間半にわたるものです。参加した学生からは、「授業で習ったことを確認でき、現場の苦労や悩みなども聞くことができた」などの感想が届いております。なお、藤田観光との産学連携の一環として、ホテル

椿山荘東京に受け入れていただきました。



ホテル内挙式のための神殿を見学

新任教員紹介

平成28年度、本学に着任された先生を紹介いたします。



岩崎 利彦 教授
心理学科

初めまして。

平成28年4月より、川村学園女子大学でお世話になる事になりました、心理学科所属の岩崎利彦と申します。

私は24年前、バルセロナオリンピックに陸上競技、110ハードルの選手として出場しております。引退後は所属していた富士通株式会社でそのまま働き、退職時は関東支社で総務部長をしていました。

機会があれば「トップ選手のセカンドキャリアへのアプローチ」や、「地域クラブチーム作り」などでスポーツに関わってみたいと考えていました。そんな折、大学に立ち上げる陸上競技部の監督にならないかとお誘いを頂きました。

お誘いの中で「学生の自主性やキャリアを重視し、強くさえずれば良いチーム作りではない」との説明に共感し、現在に至っております。

自身のキャリアとしては、陸上競技経験より普通に働いていた経験が長く、総務部や広報室に在籍し、営業・SEのサポート業務全般、社会貢献活動、全社防災計画などを経験しております。



辻 明日香 講師
史学科

高校時代、テレビ番組でスペインのイスラム式庭園を見て、その美しさと静謐さに惹かれたことがイスラム史を志すきっかけとなりました。大学では東洋史学科でイスラム史を学び、大学院時代にエジプトへ留学する機会を得たことで、エジプトに住むキリスト教徒、いわゆる単性論派のコプト教会信徒について関心を抱くようになりました。イスラム政権下で彼らはどのような生活をしていたのかということに関心を持って研究するようになり、現在に至っています。ここ数年はエジプトにおける古代史とイスラム史のつながりに注目しており、古代から続いている人々の価値観や習俗について（キリスト教・イスラム時代の変容を含め）研究していきたいと考えています。

【学生に伝えたいこと】

世界はとても広く、自分とは異なる様々な価値観を持っている人々が暮らしているということに気づいてもらえるのが嬉しいです。



小泉 朝子 准教授
国際英語学科

19世紀、20世紀のイギリス文学・イギリス文化、および英語教育が主な研究分野です。J. オースティンやギヤスケル夫人、G. M. ア、オスカー・ワイルド、20世紀の少女小説が研究対象ですが、ヴィクトリア朝の挿絵文化や雑誌文化についても研究しています。

もともとは、J. オースティンの『自負と偏見』がきっかけで、イギリス文学・文化に関心を持つようになりました。19世紀初頭という保守的な時代に、現代女性にもひけをとらないほど格好良く、スカッとさせてくれるヒロインが存在した事実に、驚きと喜びを感じたことを覚えています。その後、当時の社会背景を知ることにより、作品への理解がより深まりました。

自分の気持ちを代弁してくれる登場人物に出会えた人は、幸運だと思います。皆さんも、ぜひ、そんなキャラクターに出会ってみてください。



及川 祥平 講師
日本文化学科

今年度から日本文化学科に赴任した及川祥平です。民俗学、特に民俗宗教論、口承文芸論、現代民俗論を専門にしています。

【研究テーマ】

民俗学の道に入ったのは「妖怪」が好きだったからです。幼いころに両親から水木しげるの作品をみせられたことで、こういう人生になってしまいました。現在、特に力をいれているテーマは「人の神格化」や「偉人崇拜」です。歴史上の人物を、後世の人びとがどのように取り扱ってきたかを研究しています。このテーマに行きついたのも、父の影響で歴史が好きだったからです。民俗学は、文化をにない生活を営む、同時代の「人間」と向き合う学問です。私の関心を民俗学の立場で深めようとした結果、歴史を語ろうとする人間の研究に展開したわけです。

【学生に伝えたいこと】

可能性は与えられるものではなく、自分で切り拓くものだと思います。今の自分になにができるかだけでなく、これから何をしたいのかを大切にしてください。



吉武 弘介
学生生活支援室



神尾 陽子
目白キャンパス事務室



松原 安代 助手
幼児教育学科



退職する教職員

2015・2016年度で本学を退職する教職員の方々を紹介します。皆様のご健康とご活躍をお祈り申し上げます。

2015年度

◆退職された教員

- 吉武 民樹 副学長 教授
- 梅村 恵子★ 人文科学研究科長 教授
- 手塚 裕子★ 文学部国際英語学科 教授
- 高橋 亮介 文学部史学科 准教授
- 湯浅 弘 ★ 文学部日本文化学科 教授
- 荻原 延元 教育学部児童教育学科 教授

★名誉教授の号を授与されました。

2016年度

◆退職される教員

- 川崎 恵里子★ 生活創造学部長 教授
- 森田 直美 文学部日本文化学科 講師
- 箕輪 潤子 教育学部幼児教育学科 准教授
- 西村 彩恵 教育学部幼児教育学科 助教
- 猪瀬 義明 教育学部児童教育学科 教授
- 馬上 美知 教育学部児童教育学科 准教授
- 柚木 理子 生活創造学部生活文化学科 教授
- 関目 綾子 生活創造学部生活文化学科 講師
- 渡邊 徹 生活創造学部観光文化学科 講師

◆退職される職員

- 高島 明美 図書館事務室長

新刊紹介

《 初めての心理統計法 改訂版 》



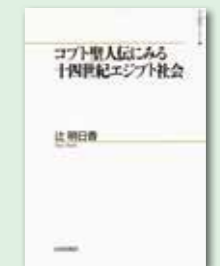
心理学科 学科長 教授
鶴沼 秀行 共著
2016年9月発行 東京図書

《 大東急記念文庫所蔵 式亭三馬自筆『雑記』 影印と翻刻 》



日本文化学科 学科長 教授
長崎 靖子 編著
2016年10月発行 武蔵野書院

《 コプト聖人伝にみる 十四世紀エジプト社会 (山川歴史モノグラフ) 》



史学科 講師
辻 明日香 著
2016年11月発行 山川出版社

《 偉人崇拜の民俗学 》



日本文化学科 講師
及川 祥平 著
2017年2月発行 勉誠出版

《 “大人になっても困らない” 子どもを育てる 親の役割とヒント 》



名誉教授
齋藤 哲瑯 著
2016年3月発行 悠光堂

年間行事

4月

- 1日 平成28年度開始!
- 2日 入学式 会場 目白大講堂
- 7日 オリエンテーション
 - 国英 東京国立博物館平成館
 - 史学 旧古河庭園・渋沢資料館・紙の博物館
 - 心理 我孫子クラブ
 - 日文 東京国立博物館・東京スカイツリー展望台
 - 幼教 東京都葛西臨海水族園
 - 児童 国会議事堂・憲政記念館 三菱一号美術館など
 - 生活 千葉大学柏の葉キャンパス内 農業施設・食品加工施設見学
 - 観光 鎌倉散策 大仏・鎌倉文学館 鶴岡八幡宮など

- 8日 産学連携 観光文化学科 × 藤田観光① オリジナルパンフレット制作 「ホテル椿山荘東京 Photogenic Hotel」

ホテルに足を運ぶ機会が少ない大学生が同世代に向けて、ホテルの魅力や居心地の良さを伝えることを目的としてパンフレットを作成。撮影は「東京カメラガールズ」、編集は雑誌「写ガール」が担当し、多くの方にホテルの魅力を伝えたい、学生でも大いにホテルを楽しめる、という想いを女子大生目線で表現しました。

- 12日 川村学園創立記念日
- 20日 六華会奨学生授与式

創立者・川村文子先生が設立した一般財団法人六華会の活動の一つとして、成績優秀・品行方正な学生へ奨学金を支給する制度です。



- 29日 アビシルベまつり

我孫子インフォメーションセンター主催・我孫子市後援のおまつり。昨年に引き続き今年も生活文化学科が参加しました。トマトのジャム&ソースの他に、紫ニンジンピクルスなど3種類を販売しました。

5月

- 23日 産学連携 観光文化学科 × 藤田観光② 結婚式プロデュース

結婚式を挙げていない夫婦、「なし婚」の結婚式を企画、ホテル椿山荘東京で挙式を実施しました。学生のアイデアのリボンシャワー（縁結びという意味合いを持つ）も大好評でした。
- 26日 『大学は美味しい!!』フェア
- 31日 メレンゲクッキーとピクルス

第9回『大学は美味しい!!』に今年も生活文化学科が参加し、新作メレンゲクッキーとピクルスを販売しました。大学別「いいね!」ランキングも今年は第2位に輝きました。

6月

- 1日 産学連携 観光文化学科 × 瀬見温泉 温泉街活性化プロジェクト

新共同温泉「せみの湯」がオープン。共同浴場のふかし湯を紹介するパンフレットや温泉街周辺の散策モデルコースの提案など、女子学生の視点で参加しました。
- 11日 学友会 スポーツデー

今年は「学長杯」と銘打ち、応急的な防災グッズを作りながらリレーを行う競技を取り入れました。スポンでリュック、新聞紙でスリッパ・簡易クッション、キッチンペーパーでマスクを作りながら、陸上トラックを駆け抜けました。



- 30日 SA(スチューデント・アドバイザー)企画 和風女子(着付と茶道) SAセンターと茶道部とのコラボ企画

7月

- 7日 学友会 七夕抽選会



- 28日 保育士資格取得特例教科目講習① 「相談支援」
- 30日

8月

- 4日 SA(スチューデント・アドバイザー)企画 バーベキュー大会



- 4日 保育士資格取得特例教科目講習② 「乳児保育」
- 6日 心理相談センター無料相談会

当センター所属の臨床心理士による無料相談会を開催しました。
- 8日 保育士資格取得特例教科目講習③ 「保健と食と栄養」
- 10日
- 25日 保育士資格取得特例教科目講習④ 「福祉と養護」
- 27日

9月

- 21日 前期卒業生学位記授与式
- 24日 我孫子市民のチカラ!

我孫子駅前のけやきプラザで開催された「市民のチカラ!」に参加し、好評のトマトジャムやソースを販売しました。

10月

- 22日 保護者会(我孫子キャンパス) 第28回鶴雅祭「乙女奮迅」【1日目】

「xD」スペシャルライブ NECグリーンロケッツ交流会 シルバニアファミリー など
- 23日 【2日目】

青木玄徳トークショー ハロウィン仮装コンテスト など



- 27日 我孫子高等学校との連携協定の締結

相互の出張講義や講演、大学の教職課程履修学生によるインターンシップや生徒の大学講義の聴講など、教育面における連携を図ります。



11月

- 1日 産学連携 あじさいねぎと野菜をたっぷり使ったドレッシングを開発

生活文化学科がJAとうかつ中央、小金園芸品出荷協会と連携し、「あじさいねぎの野菜ドレッシング」を開発しました。あじさいねぎの香り・甘みを生かし、ソースのように様々な活用ができるドレッシングというコンセプトで、あじさいねぎだけでなく、野菜をたっぷり使ったドレッシングに仕上げました。
- 10日 吉川市との相互連携に関する調印式

埼玉県吉川市及び吉川市私立認可保育園協議会と本学が、各種子育て支援事業に関し地域子ども・子育て環境の向上及びそれをささえる保育者の資質の向上に貢献することを目的とした調印式を行いました。



- 12日 保護者会(目白キャンパス)
- 13日 フジテレビ『千葉の贈り物 ～まごころ配達人～』

千葉県の魅力を紹介する番組。生活文化学科の取り組み(ピクルス、メレンゲクッキーなどの商品開発)が紹介されました。
- 20日 創立者記念日
- 26日 全国ねぎサミット2016 in Tokyo
- 27日 国産ねぎの消費拡大と地域の活性化

を目的に全国のねぎ産地が一堂に会した、全国ねぎサミット2016 in Tokyo(大井競馬場)に生活文化学科が参加しました。



12月

- 7日 卒業論文提出
- 8日
- 13日 『ちばI・CHI・BA』参加

11月19日 - 12月17日 JPタワー・KITTEにて開催された『ちばI・CHI・BA』に、昨年に引き続き参加しました。ジャム&ソースとピクルス3種類を販売し、13日は学生が参加しました。
- 21日 学友会 クリスマス会



2月

- 15日 コミュニケーション力養成講座

リーダーとしての自覚、主体性と継続、やり抜く力、コミュニケーション力を高め、SNSの適正な利用について学びました。

3月

- 20日 学位記授与式

会場 目白大講堂
卒業パーティー
会場 ホテル椿山荘東京

Open Campus

◎我孫子キャンパス◎

5月22日(日)・6月18日(土)・7月9日(土)・7月23日(土)・8月6日(土)・8月27日(土)
9月11日(日)・10月2日(日)・10月23日(日)・11月19日(土)・12月10日(土)

◎目白キャンパス◎

5月22日(日)・6月18日(土)・7月16日(土)・7月30日(土)・8月26日(金)・9月10日(土)
10月1日(土)・11月12日(土)

今年度もオープンキャンパス・キャンパス見学会・入試相談会を開催致しました。
史・心理・日本文化・幼児教育・児童教育・生活文化学科

の受験生対象の我孫子キャンパスと、国際英語・観光文化学科の受験生対象の目白キャンパス。

「来て」「見て」「聞いて」をコンセプトに、大学の授業を体験できるミニ講義「体験授業」や、簡単な工作や実技を在生と一緒に楽しみながら、学科・学問分野への理解を深める「学科体験」、「キャンパス見学ツアー」では、在生が大学施設や教室を紹介しています。オープンキャンパスを取り仕切る在生は所定の研修を受け「大学の顔」として学長から任命されたオープンキャンパスアドバイザーのみなさんです。オープンキャンパスアドバイザーのみなさん、1年間ご協力いただきありがとうございました。来年度もまた新たなオープンキャンパスアドバイザーが誕生致します。在生のみなさんの積極的な参加をお待ちしています。

保育士資格取得のための特例教科目講習

科目	単位	担当者	期日
相談支援	2単位	山田 雄一	7月28・29・30日
乳児保育	2単位	金子 なおみ 箕輪 潤子 菅井 洋子	8月4・5・6日
保健と食と栄養	2単位	坂口 早苗 関目 綾子	8月8・9・10日
福祉と養護	2単位	佐久間 美穂	8月25・26・27日

1日5時限(90分授業)×3日で1科目2単位認定
場所:川村学園女子大学 我孫子キャンパス
この講習についてのお問い合わせ
川村学園女子大学 事務部 入試広報(我孫子キャンパス)
電話:04-7183-0114

厚生労働省が保育士資格取得者の増加を目的に平成27年度から31年度の間、特例制度を設けました。この制度は、幼稚園教諭免許取得者で3年以上かつ4,320時間以上の実務経験を有する者に対して保育士養成施設において特例教科目(8単位)を修得させて保育士の資格を取得させようという政策です。

本学は社会貢献を目的にこの特例制度に沿った特例教科目の講習を開設致しました。平成28年については左記の日程で夏期講習を行い、19名が受講しました。来年度の開催日程については、大学ホームページをご覧ください。